

風まち・潮まち・港町

みたらし通志



わがえびすくん



御手洗ものがたり…2

御手洗一族発祥の地「御手洗」



特集 島の時計屋さん…3

新光時計店

ゆたかまち句集…7



ゆたかまちの味じまん…8

大長みかんの「山清青果」

なんでも伝言板…9

ゆたかまちおもしろ
発見レポート



豊町商工会

「足長小学生」

豊町の御手洗にある通学路標識。
英語入りで戦後すぐに出来たもの。





みたらし通志

2001.10.No8

秋祭も終わり、収穫をむかえたミカンで島は
黄金色に染まつてあり、あらためてミカンの島を感じ
ます。今回の「みたらし通志」では、島発「時計」と
「みかん」を通して、「人に喜んでもらえることがう
れしい」と言う人達の生き方を紹介しています。この
島で暮らす豊かさを感じていただければ幸いです。

(豊町商工会会長 村尾征之)



(上写真) 山清青果で見せてもらった
大長みかんのレプリカ。紙ねんどで本
物そっくりに作ってあった。(中写真)
140年続く島の時計屋さん、新光時
計店。(下写真) 豊中学校で行われた豊
町おもしろ発見のスライド講習会。



[表紙の写真]

今では有名になった御手洗「満舟寺」近く
にある足長小学生の木製通学路標識。見方
を変えると町はおもしろ物件がいっぱい。
只今、発見レポート大募集!!

御手洗ものがたり⑧

御手洗という姓を持つ人々がいる。現実に大変有名な人もいれば、

推理小説の中で、探偵になつていてもいる。御手洗氏はもともと

一つなのではないかという仮説をたてて、それを証明しようとした本

「巴の鏡」の推論を簡単に紹介する。

「巴の鏡」御手洗一而
(みたらいいちじ)著
若光社発行



御手洗不砂子波止より高どう
ろう、町並みを望む。

源頼朝は義経追討と西国經營といふ二つの目的をもつて、部下の武将のうちから藤原氏を伊予国に派遣した。彼は根拠地を今治に据えたが、担当する治安地域には瀬戸内海上の大三島や大崎上島・下島も含まれていた。藤原氏の武将たちは治安維持と政治的君臨のために、今治や各島々に分散した。たとえば、藤原タロベエ〇〇は崎島にというように。そして、藤原は共通語であるため省略しどここに住んでいる誰々であると呼ぶようになった。つまり手洗島に住んでいたなにさん、というように。

(長濱要悟)

やがて、「御手洗の藤原のなにがし」から、「御手洗なにがし」と名乗りもし、呼ばれるようになった。

その後、戦国の世となり、今治地域は河野一族の支配下となるが、御手洗一族はこの本家・分家の争いに巻き込まれた上、戦に敗れ、豊後の国に渡り、大友大名の支配下となり、時代が下るとともに分散していった。

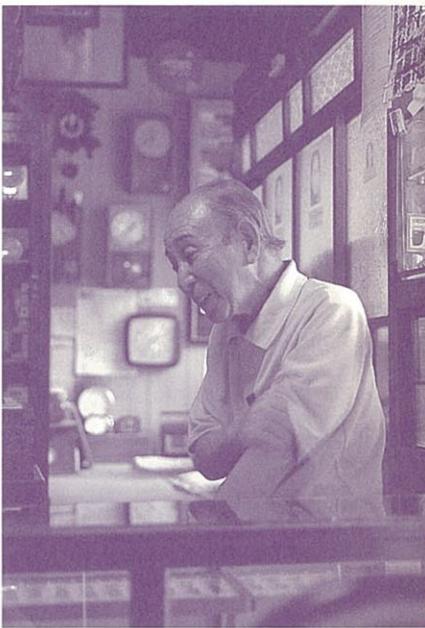
こうして、現在の大分県南佐伯地方や、熊本県菊池郡に多く見られる御手洗姓の人たちは、そのルーツをたどると「御手洗」にたどり着くのである。

命あるかぎり
時計職人として
一生懸命がんばります

島の時計屋さん

島の時計屋さんが修理をする光景を140年御手洗っ子はいつも見ていた。
新光時計店は日本で最も古い時計店。

日本で最も古い時計店



三代目松浦光行さん、86歳。「時計職人は細かい仕事。手先が器用でないとダメですね。時計はいろいろつけないとわからんけえね」

四代目松浦敬一さん、56歳。「小さい頃から手先が器用だったね。修理の時計が届くと、どんな時計だろうかとワクワクします」



「創業は約140年前、幕末の頃。初代・光次郎が米間屋から時計店に転業し、以来時計ひと筋の商売を続けてきた日本で最も古い時計店」と四代目当主の松浦敬一さん。

「創業当時は、時計を持つ人がまだ少なく商売は大変だった。私が子供の頃、御手洗は機帆船の避難港として賑わい、店も寄港した船の人達が時計や電池を買ったり、修理に出したりしていて繁盛した。港で帆をまく音がよく聞こえよった」と三代目松浦光行さん。

昭和30年代頃から寄港船が減少し、

御手洗の賑わいは低迷。一方日本の国は大きく発展し、都市での人々の暮らしや環境は、今日まで色々と変化していく。

しかし、光行さんと敬一さん親子は、

世の中が変化する間も、時計職人として、こつこつと一生懸命働き、島に流れるゆるやかな時と同じよ

うに、静かな暮らしを営んできた。そんな「島の時計屋さん」のもとに、最近全国から修理を依頼する時計

新光時計店前の通りは、昔は商店が多く港に着く船の人達で賑わった。



築80年、出入口がアルミサッシに変わった以外、当時のまま。

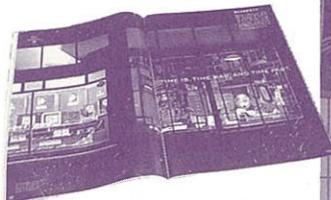


新光時計店のレトロな看板1号。
どうして11時40分?
2号はどこ?

が届いている。



今年6月雑誌BRUTUSの時計特集でも紹介された。



上／左が四代目敬一さん、右が三代目光行さんの手。今までに数えきれない数の時計を修理してきた職人の手だ。

下／器用な敬一さんは「おちょろ舟」づくりにも挑戦した。



創業当時に買ったアメリカ製のホール時計。
140年動き続けている。

多くの壊れた時計が島で再び息を吹き返す

「時計屋は修理の技術で食べている。時計の販売は誰もできるが、修理の上手い人は少ない。この仕事は手先が器用でないと務まらない。狭い島で直してすぐ壊れたと言わいたら、信用を失いそれでおしまいだ。今、修理ができる時計職人が少なくなった」

初代は神戸、二代目は大阪、三代目は呉で時計の修行をした。そして生まれつき手先が器用だった四代目敬一さんは、幼い頃から祖父に大阪や広島の時計問屋へ連れて行かれ、それが面白かったという根からの時計好きだ。140年新光時計店が続いているのは、時計職人の確かな技術とプライドを大切にしてきたからだ。

数年前から、御手洗の古い町並みがマスコミで取り上げられ、松浦さん親子の店や時計職人の姿勢も何度か紹介された。そんなこともあって、修理をあきらめていた時計が各地から「島の時計屋さん」に直してもらおうと送られてくるようになつたのだ。

「修理には非常に神経を使う。特にチリとか細かいケバには。私は新品に少しでも近づける100%修理をモットーに修理をしよるんよ。動かんかった時計が、カチ・、カチ・、カチ・、コチ・と再び息を吹き返すとうれしいね。そして何

よりもお客様に喜んでもらえることに幸せを感じます。時計を通して知り合いも多くなった。曾祖父さんや祖父が時計の修行をした神戸や大阪から、直す職人がいいからと、島に住む私の所へ時計が送られてくるなんてね……」

敬一さんのもとに送られてくる時計は、高額品から形見の時計、記念の時計、思い出の時計と愛着のあるものが多く、敬一さんはそれらの時計を「希望の時計」と呼ぶ。そしてお客様に必ず、時計のもう一つ歴史を聞いて修理を始め、できるだけ自分で届けている。

昨年には、100年以上前に、初代・光次郎さんから御手洗の庄屋金子氏が購入した時計と出会った。金子氏が買った時計は、1884年に町民が金子氏から買い取り、役場に寄付され、長い年月倉庫で眠っていた。それを敬一さんが直し、現在、御手洗の潮待ち館で、再び時を刻んでいる。

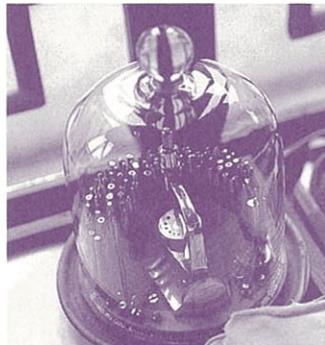
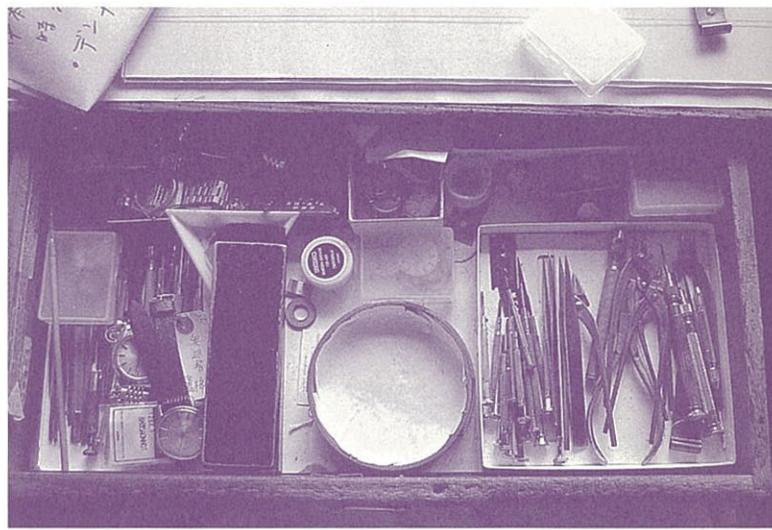
80年前二代目が建てた店は当時のままで、外も内もいつもきれいにされている。店内にある大きなホール時計は、初代が家を売つて買ったものだ。週に一度のネジ巻きと定期的に行う分解掃除を140年間怠らない松浦家の人々によつて140年間ずっと動いている。「職人四代、島の時計屋さん」をずっと見守り続けながら「カチ…、カチ…、カチ…、コチ…」と島の時刻を刻む音が、御手洗の町に響く。

希望の時計を修理できることは 時計職人として最高に幸せと 感謝しています



修理机の横に掛けられた修理を待つ懐中時計。

店のひさしの上に70年。赤いケース
が目立つレトロな看板2号。



上／整理整頓された修理机の引出の中。
左／修理大敵ホコリから工具を守る。
右／掃除が行き届いた時代ガラスの窓。

ゆたかまち句集 8



遠き島見ゆる日燕帰りけり 梅月

爽涼の洩れ日にこつと豪華船 幸子

雨あとの路地を彩る散紅葉 利子

破れ屏の焦げんばかりの薦紅葉 道女

虫の音のみな鈴となる島の闇 宣子

三弦のつまづく音や秋灯 恵美子

黒々と月の雁木に鰯の潮 幸子

まことこは月の舟虫銀座かな 清水

日の影のここまで今日のみかん採り 勝彦

農継がぬ子の遠く住み蜜柑熟る 巢鳩

俳句・和歌を募集中！

みなさまからの俳句、和歌を常時募集しています。

豊町に限らず、テーマは自由。

たくさんの投稿をお待ちしております。

[あて先]

〒734-0302 広島県豊田郡豊町御手洗

豊町商工会「ゆたかまち句集」係まで

大長みかんの山清青果

やまきよ せいか

島を愛し、ミカン
を愛する元気印の
須賀 久さん。

山清青果HPアドレス <http://www.dango.ne.jp/yamakiyo>

山清青果の契約農家の皆さん。個々の紹介がHPに掲載。



効率化と経費節減を考慮して作られた山清の段ボール。スカイブルーが目印。

今年もおいしい大長みかんを全国に届けます

「毎年みかんができるのが楽しみです」と一大ブランド大長みかん

を全国に卸す山清青果株式会社・須賀 久社長。戦前、父・喜代一さんがみかん船で卸業を始めた。昭和30年、神戸の中央卸市場で修行

した久さんは、二人の兄と「ふるさとの味を消費者に届け、少しでも農家に喜んでもらいたい」という想いで卸業を再開し、昭和34年に会社を設立した。

みかん市場は常に変化し続けており、山清では伊予柑や極早生等の新種導入で取扱商品を拡大。品質向上の為の農業視察。海外輸出や15年前に始めた直販による販売ルートの開拓など、時代に沿った方法を摸索し、努力と独自のアイデアで今まで農家と消費者のパイプ役として頑張っている。

近年、安い輸入みかんや食生活の選果場でみかんを販売。無人市スタイルで観光客に人気が高い。



海に面した山清青果の選果場。シーズンピーク時には1日6千箱が出荷される。



選果場でみかんを販売。無人市スタイルで観光客に人気が高い。



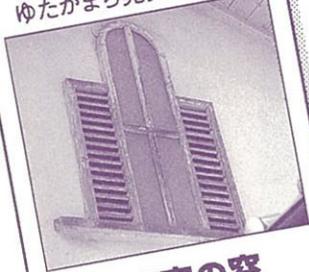
奥さんの里美さんと二人三脚で頑張ってきた。

人が人と人、島と都会を繋ぐ。

ゆたかまち“やまと”も“ぞも”伝言板



ゆたかまち発見レポート



宇宙の窓
(元病院の窓)



スペース
シャトルの
よなよな

ゆたかまちにある
おもしろ新名所です



大長



ご利用ください

(上) 9月20日に豊中学で行
われた発見レポート説明会。
暑い中、みんな真剣に聞いて
くれました。(下) 潮待ち館に
貼ってある応募を呼びかける
ミニポスター。応募用紙は潮
待ち館にも置いてあります。



「発見テーマは「ゆたかまちの新名所（新
名物）」豊町を歩いて見つけた不思
議な風景、ちょっと変わった建
物、さりげなくステキなもの等々
。あなたが発見した、豊町の
おもしろ新名所を教えて下さい。
発見フィールドは豊町の中ならど
こでもOK。また、どなたでも参加
できます。もちろん町外の方も大歓迎！
応募方法は上のチラシ裏面の応募用紙
に、発見した新名所の写真を貼り、お
もしろいネーミング・簡単なコメント
をつけて左記の住所まで送って下さい（写
真はイラストでもOK）。また、この
応募用紙でなくとも、何枚送って頂い
ても構いません。ふるって応募下さい！
入賞者にはデジタルカメラ他、豪華記
念品をさしあげます。」

【応募先・問い合わせ】
〒734-0302 広島県豊田郡
豊町御手洗 豊町商工会内
「ゆたかまち発見レポート」係
TEL 08466162020
平成13年11月30日（金）必着。

豊町ふしき発見 2001 見つけよう！ぼくらのまちの おもしろ新名所

発見レポート募集チラシ。

日本語で書かれたチラシの裏面
に日本語で書かれた説明文。



豊町ふしき発見 2001
見つけよう！ぼくらのまちの
おもしろ新名所

?



見たい！知りたい！伝えたい！

カタカナ

■先日、竹原港から主人と大崎下島へお花見に出かけました。私は近頃またに住んでいても、初めて下島へ足を運びました。ブーンと潮の香りと甘い柑橘のにおいがしました。御手洗の潮待ち館にて、情報誌を手にしました。帰りの船の中で読ませていただきました。「見たい！ 知りたい！」伝えたい！ ゆたかまちなんでも伝言板」のコーナーで、桜の名所案内を見ながら、印象深かつた満開の桜の写真入りで載せて有り、「行つたところじやあ〜」と言いながらホッとしてました。町の家並みや路地に御手洗の時代の文化を感じ、静かな町を二人でのんびりと歩いて、楽しく過ごせました。また、情報誌によつて豊町のいろんな所を知ることができ、有り難うございました。

■今回初めて潮待ち館で本誌を手にしました。俳句の盛んな町とは知りませんでした。御手洗の町が少しでもわかりました。

★今度、平田さんも一句ぜひご投勾ください。

■先田
5月23日(一) 風まち・潮まち
港町」御手洗へ観光に行きました。
御手洗の町、とっても良い町ですね。
緑豊かな山々、真っ青い海原、のど
かな風景など…、ほんとに見所が多い
つぱいでした。ボランティアのガイド
ドさんも大変わかり易く説明して下
さつて、御手洗の様子が伝わってこ

るようで胸が熱くなる思いでした。ちなみに私は山口県の大島で生まれ

思います。皆様にお話しとして下さ
いませ。皆々様に宜しく宜しく御伝
え下さいませ。

★現像遅くなつてもいいですよ。また来てください。

■前々から出かけて見たいと思つて
いました。即ち先方の見学。丘所

★大島もみかんの島ですよね。今度来られたときは気軽に潮待ち館へお寄りください。

■初めてみたらい通志を読み、豊町にも訪れ、とてもステキなところでした。又、足を運んでみたいなど思っています。もうすぐ海の季節なので、海水浴（がテーマ）の紹介や豊町の穴場が知りたいです。

いつも楽しみに読ませて頂いております。欲を言えば、発行回数を増してもらえば幸いです。次回を楽

(石丸長彦・55歳・今治市)
★はい、検討してみます。

昨日は懐かしい御手洗にゆけ、大変嬉しく思いました。長浜さんには歴史的二洋へ、お話をうながされ、色々

と参考になりました。一緒にお供されて頂、た方達も樂しくお話出来

編集室から

★次号は船大工さんの特集です。

★①御手洗の「頑固豆腐」、②ユタカ
力製菓のモナカ「おちよろ舟」(現
在生産中止)、③入船食堂の「いな
り寿司」、④大長の「別製アイス」、
⑤久比の「お好み焼」、⑥久比の「油
揚げ」などがありました。

ふるさとを離れて生活している者にとつて郷土の情報をいち早く知る事が出来、いつも楽しみにしています。次は何を掲載しているかと、い

★次号は船大工さんの特集
（下 鍛冶誠・38歳・広島市）

★次号は船大工さんの特集です。

新光時計店の専集のなかに大きなホール時計がでてきます。あたりが静まり返つた夜など、そっと耳を寄せてみると、この時計の心臓の鼓動が聞こえてきます。それは澄み切った金属音でありながら、140年間動きつづけてきた自信と誇りに満ち、正確たらんとしてきた「時計の意志」すら感じられて思わずため息を漏らしてしまいます。

えど まちな

江戸の町並み



MITARAI
since 1666

寛文6年(1666) 町屋敷割りを藩より許され、
人家が建ちはじめる

正徳3年(1713) 町年寄り(大長村の統轄下)が置かれる
宝暦9年(1759) 常盤町を中心とした大火(11月)

文化3年(1806) 伊能忠敬が御手洗を測量した
(3月1~3日)

5年(1808) 町庄屋が独自に置かれる(初代柴屋)

文政9年(1826) シーボルトが寄港する

11年(1828) 千砂子波止の築造(11~12年)

11~13年 住吉神社造営(大阪 鴻池善右衛門寄進)

(1828~30) ※千砂子波止の築造以後、
住吉町の埋立てが進んだ

嘉永6年(1853) 吉田松陰が長崎行きの途中に立ち寄る

元治1年(1864) 三条実美ら五卿が多田勘右衛門宅
(竹原屋)に奇遇する(7月22日~24日)

明治12年(1879) 御手洗町が大長村より独立

昭和31年(1956) 1町2村合併して豊町となる

平成6年(1994) 国選定 重要伝統的建造物群保存地区
となる

豊町(御手洗)への交通のご案内



プレゼント コーナー

やまよせいか

『山清青果』の大長みかん

10kgを3名様に



甘くて
おいしいヨ

一大ブランド大長みかん。天候に恵まれ今年も味の濃いおいしいみかんが育ちました。私たちのふるさとの味を味わって下さい。

■応募方法／ハガキに「山清青果の大長みかん希望」と書いて、住所・氏名・年齢・職業・電話番号、そして「みたらし通志」に対するご意見、ご感想をお書き添えの上、下記までお寄せ下さい。

抽選により3名様にプレゼントいたします。

当選は発送により、発表にかえさせていただきます。

■あて先／〒734-0302 広島県豊田郡豊町御手洗

豊町商工会「みたらし通志」プレゼント係

■締め切り／平成14年1月31日(当日消印有効)



観光案内(観光の問合せ・ガイド申込等)

■潮待ち館・観光交流センター

TEL-FAX 08466-7-2278